
対外的な彼女

井沢あや

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

対外的な彼女

【Zコード】

N5114A

【作者名】

井沢あや

【あらすじ】

ファミレスの片隅で、私は言われた。 対外的な彼女だと。ちよつと変わった別れ話。

私は今、おそらく人生で一番怒っている。

早朝の暇そうなファミレスの角の席で、眉間に深い皺を寄せ、腕をくみながら。目の前にあたかも自分が正しいような顔をして座っている奴の顔を睨みつける。

「ねえ。どうゆうことかちゃんと説明してくんない？」

悔しくて語尾が震えた。決して、悲しみからくる震えなんかじゃない。決して。

奴は私の彼氏だ。いや、今となつてはもう、彼氏だったと言つた方がいいのかもしれない。

店員もただならぬ様子を感じとつてか、チラチラと私達の方に視線をよこしていた。

「あんたたち、何か言えないわけ！？」

「言いたいことは、もう全て話したつもりだ」

奴が言う。淡々と。

「…美紗は、対外的な彼女だった」

「そんな説明で、私が納得すると思うの！？ふざけないでよ！」

奴の隣にちょこんと腰かけるカワイイコガ、私の怒声にビクリと体を震わせた。小柄で華奢な体、うるんだ瞳、色素の薄いサラサラの髪。奴の理想の恋人、らしい。

まるで私が悪者みたいだ。

「……いつから？」

「始めから」

始めて？出会った時から？

何よ、それって。

「私に対して恋愛感情を持つたことは、一度もないってこと？」

「美紗の事は、ちゃんと好きだった」

「じゃあなんで……！」

「……『めん』

私達、それなりに幸せだったと思つのは私だけ？上手くいってた。
私が、眞実に気付いてしまうまでは。

彼のカミングアウトを聞くまでは。

「そんなんに、その『がいいの？』

「碧は、特別なんだ。美紗との事も、話して理解して貰つてた」「何も知らないのは私だけってわけね」

いろいろな事が頭の中を駆け巡り過ぎて、何を言つていいか分からなくなる。『ごちゃごちゃしすぎて、訳が分からないのに、別れを告げられた事実だけはやけに明白に分かつた。

「私達、付き合つて6ヶ月だっけ？」

「5ヶ月と半月」

「細かいのよ。私、あんたのそのチマチマした所が大嫌いだつた」

「そう」

「なんでそれほど冷静なのか。隣にぴったりと寄り添う恋人がいるからか。

なんだか突然泣きたくなつた。こんな冷たくて変態な奴の為に、涙なんか流す意味がない。

「話は、終わりだ。本当に、美紗には悪いことをしたと思ってる」「とうとう涙が溢れてしまつた。一度破裂したダムは塞き止められない。次から、次へと。

「ごめん」

奴は頭を下げ、立ち上がつた。終始黙りこんでいた”碧”という恋人も、急いで席を立つ。

「あの」

立ち去る間際、カワイイコは不安げにこう言つた。

「今後一切、一彰さんに関わらないで下さい。本当は、彼女がいる事 자체すごく嫌だったんで」

私は流れる涙もそのままに、その口を見上げた。可愛い顔が、凄く醜悪に見えた。

「一彰さんの恋人は、僕だけですから」

小走りに奴の元へ駆けて行くその人を眺めながら、私はぼおつと
考えた。

私は、負けたのだと。

ただ負けるなら諦めがつく。素直にただ悲しかったかもしれない。
相手が、綺麗な顔をした少年なんかじゃなかつたら。

私はカムフラージュだったと、対外的な彼女だと、奴は言った。

私は、男に負けたのだ。

(後書き)

ジャンル：恋愛でいいんだろうか。ん~、微妙だなあ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5114a/>

対外的な彼女

2010年10月21日01時19分発行